

日野精機株式会社
野洲工場新築工事
2019年8月～2020年3月

日野精機株式会社

代表取締役	福田 弘
常務取締役	福田 喬
取締役工場長	福田 雄司
取締役	福田 真弓
取締役総務部長	安藤 泰己
野洲工場長	藤井 健太郎
営業・業務統括本部	福田 幸司

株式会社澤村

代表取締役	澤村 幸一郎
建設プロデューサー	河村 直子
建設プランナー	徳永 康治
建設ディレクター	藤森 博紀
建設ディレクター	船田 竜司
建設ディレクター	横井川 英司

Build by **SAWAMURA**



HINOSEIKI co.ltd.

野洲工場竣工のご案内



きれいに。かっこよく。こだわりをもつ。

従来とは真逆の3Kが、日野精機のモットーです。

きれいな工場は、働きやすい。

かっこいい工場は、働きたくなる。

こだわりのある工場は、働いていて誇らしい。

その想いを、オープンファクトリーに込めて、

野洲工場は竣工しました。

ここから生まれる日野精機の未来に、

ぜひご期待ください。

あたらしい3Kをつくる工場へ。



板金工場を象徴したメタリックな外観
風除壁はプロジェクトチームのこだわり



1階工場エリア
2階の窓から工場が一望できる



来客エリア
自社製品を展示するコーポレートブルーのショーケース



塗装エリア



タレットパンチプレスエリア

2階 打合せエリア



1階 製造休憩エリア



Project Interview

member



代表取締役
福田 弘



取締役総務部長
安藤 泰己



野洲工場長
藤井 健太郎

これからの日野は、これからの人がつくる。 仲間も家族も集まれる、らしさあふれる工場が竣工。

オープンファクトリーとして竣工した野洲工場は、どのような経緯で、どのような想いをこめてつくられたのか。代表をはじめ、プロジェクトメンバーに語っていただきました。

新工場設立の経緯を教えてください。

福田 一般的なイメージとして、工場はよく「3K」と言われるでしょう?きつくない・きけんというふうですね。当社では、そのイメージを逆転させて「きれいに・かっこよく・こだわりをもつ」の「3K」を目指すようにしているんです。このコンセプトのもとに、従業員がやりがいや誇りをもって働けるような、また、日野精機で働きたいと思えるような場をつくりたいと考えたのがはじまりです。

安藤 それからさまざまなご縁をいただき、ご紹介をいただいたのが SAWAMURAさんでした。SAWAMURAさんの掲げる「オープンファクトリー」の考えに共感し、ご提案いただきたいとお声かけさせていただきました。

福田 社員に魅力を感じとってもらえる建物にしたいという想いと、会社の理念やビジョンを建物に反映させ、人材獲得にも期待できる「オープンファクトリー」のコンセプトが合致したというわけです。



SAWAMURAさんに依頼する決め手となった理由は何ですか?

藤井 当社の従来の工場では、工程により建物が異なり、できあがった品物を次の工程の建物へ運ぶひと手間がありました。新工場では、ひとつの建物の中ですべての工程を製造できる設計プランが、現場からするととても魅力的でした。また、デザイン・設計・施工まで一貫して手がけられる、SAWAMURAさん独自のシステム建築である「カナリス」という工法により、30m×100mある建物にも関わらず中間柱がありません。これにより機械のレイアウトや従業員の導線などを、理想的な配置に近づけることができたのも大きなポイントです。

安藤 2020年7月の43期のスタート時には、生産を開始したいという希望がありました。2019年1月にプロジェクトが発足したので、短納期に対応していただけることも心強かったですね。

福田 SAWAMURAさんの手掛けられた建物を、何軒か見学もさせていただきました。当社のプロジェクトメンバーも、普通の工場はいやだった。もちろん突拍子のない工場はできませんが、色使いなんかもこだわりたい。実際にSAWAMURAさんの作品を見ることで、良いイメージが湧いてきました。ご提案いただいた図面をみて、「いい工場ができそうだな」と確信しました。



内装や外観などのこだわりを教えてください。

福田 コーポレートカラーのブルーを基調に、洗練されたデザインを要望しました。また、階段の壁面のオブジェや会議室のテレビボードなど、いたるところに当社の加工技術をちりばめ、「当社らしさ」を演出しています。こうしたアイデアは、SAWAMURAさんのスタッフと当社の若手メンバーでプロジェクトチームを結成し、2週間に1度のミーティングで生まれていきました。

藤井 予算的な最終判断や、プロジェクトの進め方に迷ったら社長に相談していましたが、それ以外は我々若手メンバーにまるごと任せさせていただきました。プレッシャーもありましたが、信用されているんだと、誇らしい気持ちでプロジェクトに取り組むことができましたね。

安藤 取引先はもちろん、新入社員から従業員の家族まで、さまざまな方々を受け入れられる場所になればと考えていました。また、電車通勤の従業員が快適に帰れるようシャワー室も完備しました。「働きやすい工場」というところには、とことんこだわっています。



社内のプロジェクトチームをまとめあげた
営業・業務統括本部 係長 福田 幸司



新工場とともに創っていく、 将来のビジョンを聞かせてください。

藤井 次の世代へ引き継いでいく舞台は整いました。この新工場でも、仲間と切磋琢磨しながら技術を磨き、成長していきたいと思っています。

安藤 SAWAMURAさんに依頼して本当によかったです。会社としてこのような素晴らしいステージが完成したことを嬉しく思うと同時に、ここでいかに成長していくか。そういった一人ひとりの意識が、これからは大切になります。常に高みを目指して働ける環境づくりに、いっそう力を入れていきたいですね。

福田 新型コロナウイルスの影響もあり、今後はますます「自社で何ができるか」というところが重要になってくると考えています。多種多様な部品加工において、設計から塗装、組み立てまで一貫体制でできる強みをさらに伸ばしていきたいですね。また、若手メンバーのアイデアが詰まった新工場から、新しい人々による、新しい挑戦が次々と生まれていくことに期待しています。